5013257505

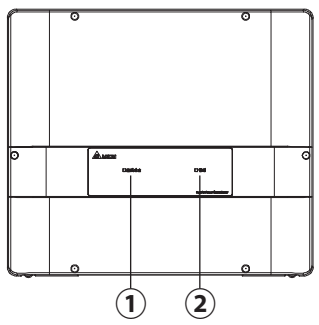
ハイブリッドパワーコンディショナ 簡易施工マニュアル　型式：E6J

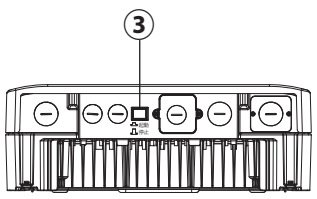
本機の施工に際し、弊社の施工研修を受講してください。
未受講者が行った場合、機器保証は出来ませんのでご注意ください。

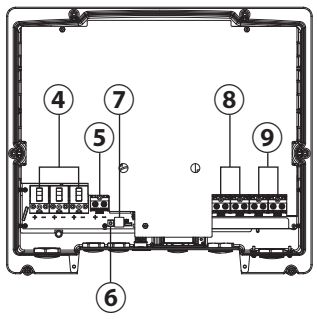
安全上の要点
・自立運転端子に接続する電線とコンセントは、定格 15A の物を使用してください。
・ハイブリッドパワーコンディショナ（以下パワーコンディショナ）の各々の面から障害物まで、次の寸法以上を離して取付けてください。
　▶前面から 70cm・上面から 20cm・底面から150cm・左右側面から15cm
・横にしたり、傾けたりして取り付けないでください。
・複数台を設置する場合、縦に並べて設置しないでください。
・PV 連系ブレーカーは正しい容量(40A)のものを使用してください。
・既築住宅へ設置する場合は屋内配線の電源容量を確認し、必要により契約容量や配線の変更を行なってください。
・スマートメーターをお使いの場合、ブレーカー機能付きのものがあります。
　そのような機器をご使用の場合は、契約容量の変更の際に、スマートメーターのブレーカー容量の変更も行ってください。
・主幹漏電ブレーカーは、条件に合った正しいものを使用してください。
・汎用やモータ保護用の主幹漏電ブレーカーは使用しないでください。
・太陽電池側、配電系統側の配線には適切な電線を使用してください。
・太陽電池側と配電系統側の配線を絶対に間違えないでください。
・試運転は、設置状態および配線状態を確認し、自立運転から行なってください。
・絶縁抵抗の点検終了後は各端子間の短絡線をはずしてください。
・廃棄については、産業廃棄物として適切に廃棄処理してください。

このような場所には設置しないでください。
・ 直射日光の当たる場所
・ 次の温湿度範囲以外の場所
　温度：-25 ～ 60℃、湿度：0~100% RH 未満（ただし、結露および氷結なきこと）
・ 脱衣所、作業場、調理場などの湿気の多いところや、湯気の当たる場所
・ 製品の発熱により周囲温度が 60℃を超えると想定される場所
・ 作業場、調理場、換気扇などの油煙が多い場所
・ 温度変化が激しく、内部回路の結露が想定される場所
・ 直接塩水のかかる場所
・ 冷気が直接吹き付ける場所
・ 腐食性ガスや液体に触れる場所（鶏舎- 畜舎・化学薬品を取り扱う所等）
・ 天地逆方向、横方向、あるいは水平方向に設置しない。
・ 積雪の恐れのある場所については屋外に設置しない。

各部の名称







① 連系/自立LED
　連系や自立の状態表します。
② 警報LED
　エラーまたは故障を表します。
③ 非常停止ボタン (EPO)
　本機を緊急停止します。
④ DC スイッチ付端子台
　太陽電池側からの電力を “ON” “OFF” します。
⑤ 蓄電池用端子台
　蓄電池ユニットの BT コネクターと接続します。
⑥ 蓄電池用アース
　蓄電池ユニットの蓄電池専用アースと接続します。
⑦ 通信モジュール 1
　蓄電池ユニットの CAN ／ RS-485 コネクター（RJ-45）を接続します。
⑧ 自立運転用端子台
　太陽電池、系統、蓄電池から電力が供給されます。
　単相 3 線（U/O/W）＋アース（PF）
⑨ 配線系統用端子台
　太陽電池、系統、蓄電池から電力が供給されます。
　単相 3 線（U/O/W）＋アース（PF）
　※ただし、蓄電池からの売電はしません。

梱包内容

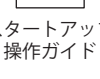

パワーコンディショナ（本体）


取り付けベース板


簡易施工マニュアル


計測ユニット＆N4J 用通信コネクター


取扱説明書


スタートアップ操作ガイド

●付属ネジ一式　　※( )内は予備の数量

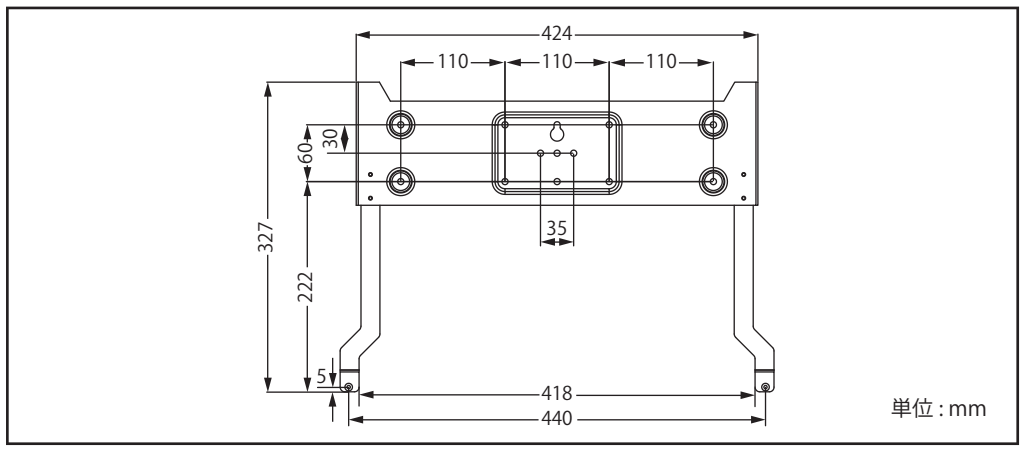
No.	部品名	数量	備考	形状
1	取付ベース板固定ネジ 5.5 x 80	8	取付ベース板の設置用	
2	平ワッシャー 10 x 5.6 x 1.1	8 (1)		
3	フロントカバー固定用ネジ M5 x 0.8 x 20	(1)	フロントカバー固定用ネジ予備	
4	本体固定ネジ M4 x 0.7 x 12	2 (1)	パワーコンディショナと取付ベース板の固定用	
5	蓄電池専用アースネジ M4 x 0.7 x 8	1	蓄電池専用アースネジ配線用	
6	フロントカバーネジキャップ（A）	(1)	ネジ目隠し用ゴムキャップ予備トップ/ボトム用	
7	フロントカバーネジキャップ（B）	(1)	ネジ目隠し用ゴムキャップ予備サイド用	
8	配線圧着端子 RNBS5-4	7	入力（太陽電池側） 蓄電池専用アース (4 ~ 6 mm²)	
9	絶縁キャップ（黒色） TCV-52-14	7		
10	配線圧着端子 RNBM8-5	10	出力（系統側）、自立、アース端子配線用 蓄電池端子配線用 (8 mm²)	
11	絶縁キャップ（白色） TCV-81-12	10		

●検査成績書
●取付用型紙

警告			
	万が一の場合、内部部品の破壊、発火により機能障害や火災が発生する恐れがあります。 隠蔽配線、露出配線に係らず、ゴキブリやネズミなどが侵入しないように、端子台周辺から穴埋め用パテで配線口や壁面に隙間が発生しないように施工してください。		万が一の場合、感電による傷害が起こる恐れがあります。 作業を行なう前に、本体の開閉器、太陽光発電用ブレーカーを "OFF"　にしてください。 運転中およびブレーカー OFF 後3分間は端子には触らないでください。
	万が一の場合、感電による傷害が起こる恐れがあります。必ずアース線を接続してください。		万が一の場合、感電による傷害や火災が起こる恐れがあります。 分解、改造、または修理をしないでください。
	万が一の場合、感電ややけどによる傷害や機能障害が起こる恐れがあります。 幼児の手が届くところには設置しないでください。		インパクトドライバーや電動ドライバーを使用すると、本体や端子台を破損し、ネジが締まらなくなる恐れがあります。 指定の締め付けトルクで手締めしてください。
注意			
	壁の強度不足により脱落してけがなどの障害が稀に発生する恐れがあります。 質量に十分耐えられる場所に取り付けてください。 必要により補強に補強板を使用してください。		誤配線すると内部部品の破壊、破損、不動作による機能障害が稀に起こる恐れがあります。 配線の際には、端子名称および極性を確認して正しく接続してください。
	けがなどの障害が稀に起こる恐れがあります。 本体取付作業は両端を持ち、2 人で行なってください。		高熱のため稀にやけどの恐れがあります。 通電中や電源を切った直後は天井部に触らないでください。

ハイブリッド蓄電システムの使用上の注意
購入時に補助金の交付を受けた方は設置時から一定期間の使用が義務付けられる場合があり、その間は本製品を適正にご使用していただく必要があります。期間内に修理が必要になった場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

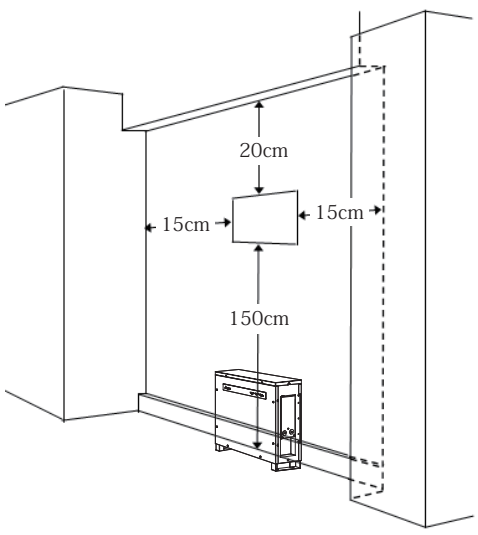
取付ベース板詳細図面



■　取り付け手順　■

［1］ 取付けベース板はパワーコンディショナの質量に耐える場所に設置してください。
・板壁の場合は固定用ネジ穴をさん木で固定できるように設置してください。
・図 2 と 3 のような取付け方をする場合は、さん木に固定していない両端の 4 本も必ず固定してください。
・壁の強度が不足する場合は、補強板（さん木など）を使用してください。
（補強板は工事店様でご準備ください）

［2］ パワーコンディショナの周囲は換気、操作、雨水の飛散、および冠水、冠雪防止等のために下図に示すスペースを確保してください。
底面からの距離を 150cm にしている理由は小さな子供が容易に触れないようにするためですが、余り高い位置に設置されるとメンテナンスがし難くなりますのでご注意ください。
取付け寸法の確認には、付属の取付用型紙を使用してください。



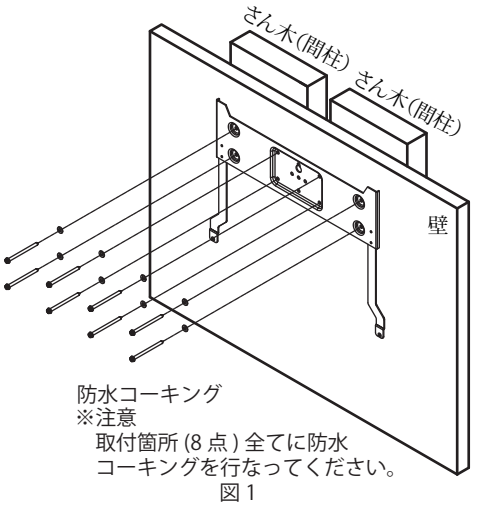


図 1

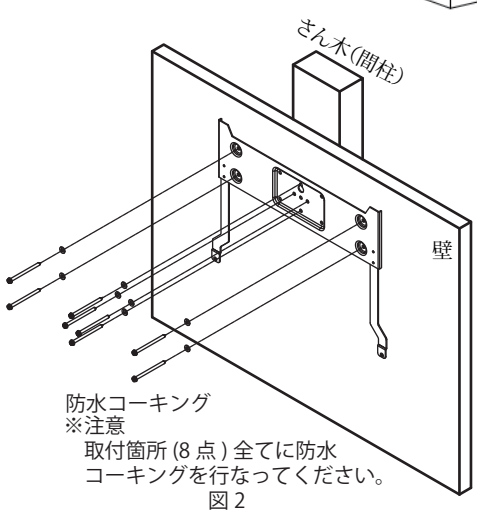


図 2

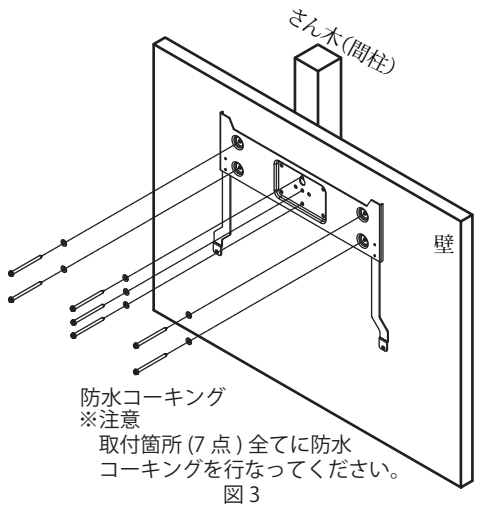


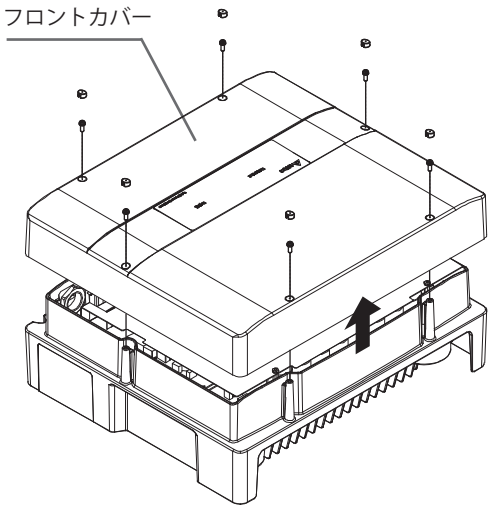
図 3

［3］ 取付けベース板を、付属の固定ネジで壁に取付けてください。
壁面に設けた下穴にコーキング充填してください。またネジ締め後、凹部に十分な量のコーキング材を塗布してください。

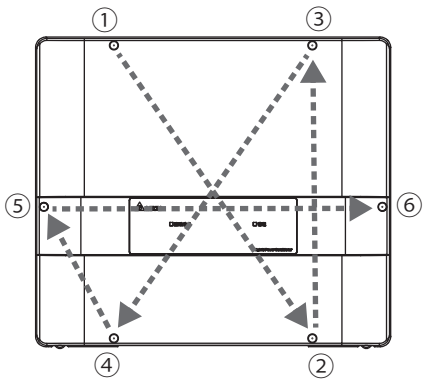
［4］ フロントカバーネジキャップ（ゴムキャップ）の中心部を細いピンで引き抜き、ネジ (6 本) を緩めて、フロントカバーを本体から取り外してください。
※取り外したフロントカバーは、キズがつかない場所に置いてください。
※取り外したネジは使いますので、必ず保管してください。

[注意]
▶ネジはステンレス製ですので落下・紛失にご注意ください。

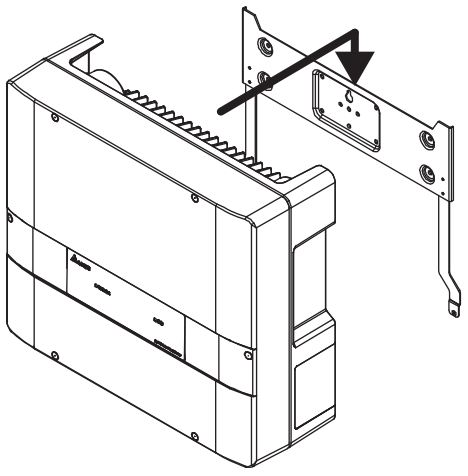
フロントカバー

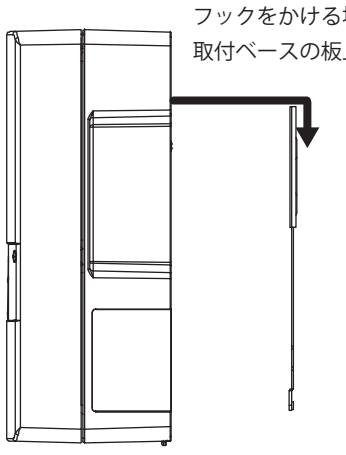


【取付け時の注意事項】
▶防水パッキン（シリコンゴム）が正しい位置にあるか、必ず確認ください。
▶フロントカバーを取り付ける際には、全てのビスを仮止めしたうえで、下記番号順にて締め付けてください。
時計方向又は反時計方向などで締め付けた場合、防水パッキンが適切に機能せず、機器内部に浸水する危険性があります。



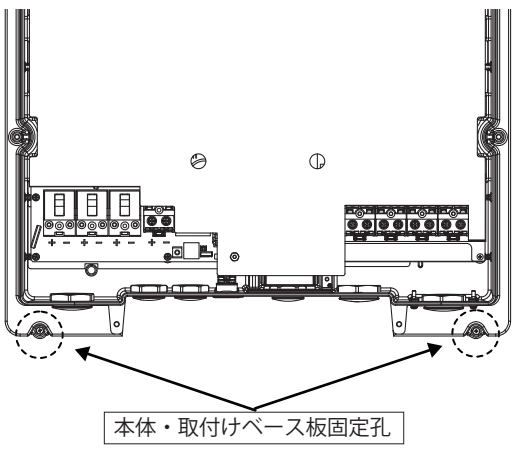
［5］ 取付ベース板引掛け部と本体裏面側のフックの位置を確認し、本体のフックがベース板の上部の上になる位置で押し当てます。そのまま静かに本体を下にスライドさせ、フックを確実に引掛けてください。



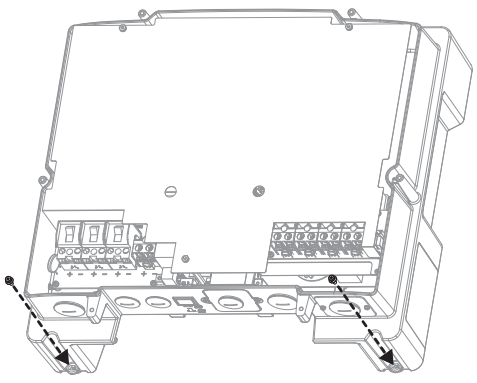


フックをかける場所は、
取付ベースの板上面です。

［6］ フックが正しい位置に固定できているか、本体底面と取付ベース板の底面が同一面上にそろっていることで確認してください。異常がなければ、底面左右のネジ穴と取付ベース板を同梱のネジ (2 本) で確実に固定してください。ネジは、1.0 ～ 1.2N・m(10 ～ 12kgf・cm) のトルクで締付けてください。

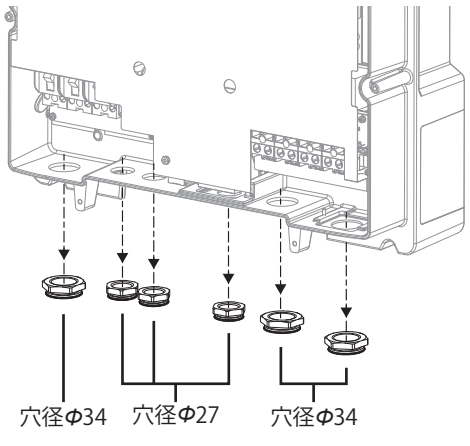


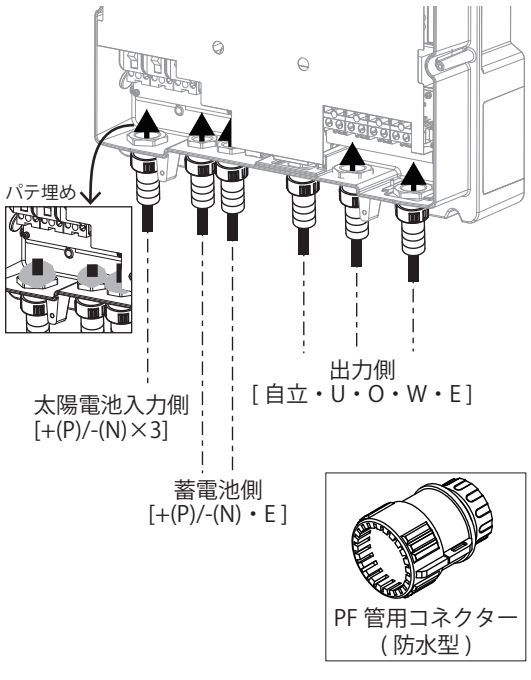
本体・取付けベース板固定孔



ネジは、1.0 ～ 1.2N・m
(10 ～ 12kgf・cm) のトルクで
締付けてください。

［7］ケーブル配線キャップを外してください。
［8］配線キャップを外してできた穴（Φ34/Φ27）に PF 管用のコネクター、及び配線管（Φ28/Φ22）を取付け、確実に固定してください。配線管には太陽電池入力用・出力端子用ケーブルをそれぞれ独立で配線してください。
［9］パワーコンディショナ内側から全ての配線管の先端の隙間をパテ埋めしてください。
また、配線管の反対側もパテ埋めをし、雨等が入らないように先端を下向きにしてください。
※塩害地域外では配線管に水抜き穴を開けることもおすすめします。





※外したキャップは輸送の際等に必要となります。
必ず保管ください。
※外したキャップを本体内部に置かないでください。

PF 管用コネクター
(防水型)

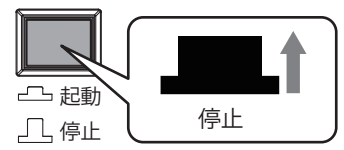
■ 蓄電池ユニットのケーブルの取り付け、取り外し方法 ■

蓄電池用端子、BT コネクターにケーブルを取り付け、取り外しする場合、下記の手順で行ってください。

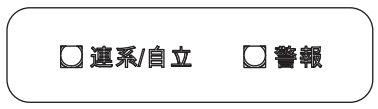
（1）取り付け方法
1. パワーコンディショナの「非常停止ボタン」を押し、停止にします。(図①)
2. 太陽光発電用ブレーカー、主幹漏電ブレーカーを“OFF”にします。
3. パワーコンディショナの動作表示灯の警報LEDが点灯します。*1 (図②)
4. 蓄電池ユニットの動作表示 LED のすべてのLEDが、消灯状態であることを確認します。*2 (図③)
5. 蓄電池ユニットのCAN/RS-485端子、BT+端子、BT-端子を接続します。
6. パワーコンディショナの蓄電池用端子、通信モジュール 1 端子を接続します。
7. 「非常停止ボタン」を押して動作させます。(図④)
8. 太陽光発電用ブレーカー、主幹漏電ブレーカーを“ON”に戻します。

＊1:配線状態により動作表示灯が消灯状態の場合があります。
その場合は5分待ってから作業を行ってください。
＊2:配線状態によりStandby/On LEDが点滅する場合があります。
その場合は5分待ってから作業を行ってください。

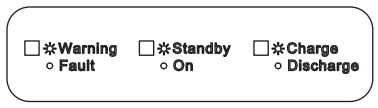
図①【パワーコンディショナ　非常停止ボタン】



図②【パワーコンディショナ　動作表示灯】



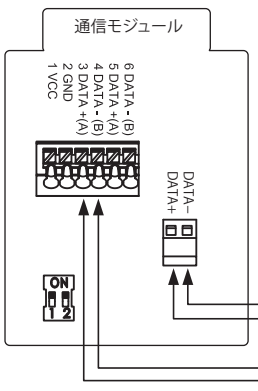
図③【蓄電池ユニット　動作表示 LED】



図④【パワーコンディショナ　非常停止ボタン】



（2）取り外し方法
1. パワーコンディショナの「非常停止ボタン」を押し、停止にします。(図①)
2. 太陽光発電用ブレーカー、主幹漏電ブレーカーを“OFF”にします。
3. パワーコンディショナの動作表示灯の警報 LED が点灯します。(図②)
4. 蓄電池ユニットの CAN/RS-485 端子を取り外すことができます。
5. 蓄電池ユニットの動作表示 LED のすべての LED が、消灯状態であることを確認します。(図③)
6. 蓄電池ユニットの CAN/RS-485 端子、BT+ 端子、BT- 端子を取り外すことができます。
7. パワーコンディショナの蓄電池用端子、通信モジュール 1 端子を取り外すことができます。



⚠警告

パワーコンディショナへの接続を誤った場合機器が壊れます。
配線に十分注意ください。

技術的なお問い合わせ先

デルタ電子株式会社
エナジーインフラ営業本部　エナジーソリューション部
〒553-0003 大阪市福島区福島5-9-6
TEL 0570-550-065（パワーコンディショナお問い合わせ窓口）

●修理・工事などのご相談・お問い合わせは、お買い求めの販売店・工事店へ。

許可なく複製・転記すること並びに部分的にもコピーすることを禁じます。

20210118